

---

# 悪魔の施し

麻未夢

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

悪魔の施し

### 【Nコード】

N89860

### 【作者名】

麻未夢

### 【あらすじ】

裕福な老婆の元を訪ねては、嘘を並べ立てて施しを乞う人々。嘘と知りながら、彼らに乞われるまま施しを与え続ける老婆。そんな老婆の意図を知る者は誰一人としていない。そんなある日、老婆は静かに息を引き取った。

一人の裕福な老婆が居た。

「子供に新しい鞆を買ってやりたいんです。もうボロボロで、いえ、本人は何も言いやしません。ですけど、他の子供たちが新品の鞆を持っているのに、うちの子だけ……まあ、こんなに？ありがとうございます。なんて親切な奥様。あなたに神のご加護がありますように」

その若い女に子供などおらず、老婆から施された金がただ酒代に消えている事など、別室で自分の順番を静かに待ち続ける者達の中に知らない者はいない。

だが、彼らも結局は、その殆どが先の女性と似たり寄つたりのデタラメ話で、老婆からの施しを乞いに来た者ばかりだ。

同じ脛に傷持つ身、そして赤の他人に気前よく施しを与えられる程の裕福な老婆の懐から少々の金を掠め取ったところで、その良心が痛む筈もなければ、老婆に真実を告げる理由も持つてはいない。

「そう、ご両親が入院なさったの。これだけあれば一月程の入院代には足りると思うのだけれど」

「ありがとうございます。本当に、ありがとうございます！」

この男の両親が入院している事は事実だが、彼がその金を持つて行くのが病院ではなく競馬場である事も、次に訪れた孤児院を運営しているという若い男への施しが、その男の愛人へのプレゼント代に消えていることも、彼らは皆承知している。

そして、老婆もまた、それを知っていた。

しかし、老婆は彼らへの施しをやめなかった。

私は、罪を償わなければ。

その日の面談をすべて終えた後、一人で紅茶を淹れながら、老婆はふと昔のことを思い出していた。

あの若かった日、デタラメ話で裕福な老人を騙して、その日の酒代を手に入れたのは誰？

子供の為と偽って手に入れた施しを、恋人への贈り物に費やしたのは誰？

病気の両親を見捨てたのは誰？

老婆は揺り椅子に腰掛けて、香り高い紅茶を一口啜った。

「ああ、おいしい……」

自分に彼らを責める資格などないと、老婆は知っている。

だが、それでも時折思うのだ。

私はもう、赦されてるのではないかしら。

あの詐欺師達にも、そろそろ自分の罪を認めさせるべき時が来ているのではないかと、老婆はカップの中で静かに揺れる琥珀色の水面を見やりながら、そう考える。

けれども、夜が終わり、新たな朝が始まれば、老婆はまた彼らに施しを与えるのだった。

「まあ、捨てられたペット達の保護施設を？素晴らしい考えだわ。

さあ、このお金を持って行きなさい」

「お子さんの難しい手術にお金が必要なのね。これだけあれば足りるかしら」

「孤児達を遊園地に？少し余分に渡しておくわ、ついでに美味しいものでも食べさせてあげなさい」

そうやって、人々への施しを続けながら、毎夜のごとく彼らを罰する自分の姿を思い浮かべる。

そんな毎日が続いた末のある日の朝、老婆はひっそりと息を引き取っていた。

その日もまた、デタラメ話で老婆から金を筆記とろうとしていた人々は、大いに落胆し、そして帰っていく。

後日、弁護士によって明らかにされた彼女の遺言により、子供に新しい靴を買ってやりたいと言っていた若い女が、老婆の遺産を受け継ぐことになった。

突然の幸運に、女は喜ぶよりも狼狽える。

こんな幸運、神様じゃなくて悪魔の仕業に違いない。

そして彼女は、財産と同時に受け継いだその家に住み、かつて老婆がそうしたように、嘔を吐く人々への施しを始めるのだった。

罪を償わなくては。そして、神様に赦しを請わなければ、きつと大変な事になる。

ただ、その一心で。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8986o/>

---

悪魔の施し

2010年11月30日18時48分発行